

## 令和6年度第2回経営アドバイザー会議議事録

開催日時	令和7年3月13日（木） 午前10時から正午まで
開催場所	千葉県立房総のむら 風土記の丘資料館集会室
出席者内訳	<p>豊田佳伸 委員</p> <p>柏木恭子 委員</p> <p>秋山笑子 委員</p> <p>山田篤 委員</p> <p>和地滋巳 委員</p> <p>房総のむら：岩崎館長・鎌形副館長兼事業課長 安藤管理課長・長谷川広報普及グループ長</p> <p>千葉県立教育振興財団：田邊事業企画課長</p>
議 事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和6年度下半期事業について</li> <li>・ 令和7年度事業計画について</li> <li>・ 運営についての意見交換</li> <li>・ その他</li> </ul>
質問、意見、 要望等	<p>① たくさんのイベントが開催されているが、多くの人に情報を提供するためにLINE等を利用して発信していく方法を検討したほうがよい。外国人の方には、外国語で掲示したりQRコードで説明を見ていただくのもよい。</p> <p>② 来場者から飽きられないように、古くからの人気のある演目と新しい演目を追加していくことが必要であるが、講師による実演等を通して伝統的な技術を伝えていくことも房総のむらの見どころである。講師を探すことも大変であるが、館としてどのように対応していくのか。体験や展示は、一般の方がわかりやすいようなやり方や見せ方をしていく必要がある。</p> <p>③ 業種や地域によっては、コロナ禍以前の稼働率や需要が戻らない中、単価を上げたり、建造物の保存等のために入場料に差をつけたりしているとの報道もみられるが、房総のむらでの対応はいかがか。</p> <p>④ 房総のむらのホームページで施設全体のマップをみつけられなかった。一般の方にはわかりやすいホームページになるとよい。</p> <p>⑤ まつり開催時の入館者数は多いので、単純に入館者数の増を図るということであれば、まつりの回数を増やしていくなどが考えられるのではないか。</p> <p>⑥ 外国人観光客が房総のむらについてイメージしやすいように、キーワードになるようなキャッチコピーをつけておくとよい。</p> <p>⑦ 「むらのお正月」では、入場者が増えているが、特別なイベント等があったのか。</p> <p>⑧ ぼうじろ一号の運行の運行回数・定員・傷害保険はどのようになっているか。また、運営については直営か委託か。</p>

<p>むらからの 回答</p> <p>※数値は、 「質問・意見・ 要望等」に対応</p>	<p>① 広報の仕方については、皆さんに興味を持っていただけるよう、実際に体験されている場面や講師の方の実演を動画で配信していきたいと思えます。 外国人入場者への対応については、QRコードや翻訳アプリなどを活用して多言語に対応できるように整備を進めてまいります。</p> <p>② 演目についてはマンネリ化しないよう、演目を入替えたり魅力ある演目を追加するなど工夫しています。 講師の高齢化などにより伝統的な技の継承が難しくなっており、新たな講師の開拓を進めるとともに、職員が講師のお手伝いをしながら技術を習得していけるよう努力しています。</p> <p>③ 入場料については条例により300円と決められていますが、人件費や諸材料の値上げを踏まえて、体験料を値上げさせていただきました。</p> <p>④ 館内マップについては、ホームページのトップメニューの施設案内の中にわかりやすく配置します。</p> <p>⑤ 「まつり」は、房総のむらを知っていただくための企画として実施していますので、まつりをきっかけに通常の体験や展示のリピーターになっていただきたいと考えています。</p> <p>⑥ 外国人観光客や初めて来館される方がイメージしやすいようなキャッチコピーを検討してまいります。</p> <p>⑦ 「むらのお正月」の入場者数の増については、天候に恵まれたことと1月4日が土曜日であったことが理由と考えられます。</p> <p>⑧ ぼうじろ一号は、土曜日に3往復し、定員はゴルフカートを使用しているため4名であり、傷害保険に加入しております。なお、当館職員が運行業務に従事しています。</p>
--	---